

大分医療センター

基本理念 「愛の心・手」で、病める人々に寄りそう医療

病院紹介文

当院は大分県の中部に位置し、別府湾に面した海辺にあり、当院北側の隣接海岸には緩衝緑地地帯の造林が東西に延び、南に久住山西に高崎山などの九州の山並みが連なり、北に国東半島を眺め、東に佐賀関、晴れた日には遥かに四国を望むことができ、環境は格別なもので療養に最適な地にあります。大分県地域医療支援病院の承認を受け、医師会と救急隊との合同学習会の開催やかかりつけ医の連携強化を推進しています。また大分県がん診療連携協力病院として5大がんである胃癌、大腸癌、肝癌、乳癌、肺癌を中心にその他前立腺癌などの悪性新生物の集学的治療を行っています。大分市2次救急医療固定型輪番制（365日、24時間体制）の指定も受けており大分東医師会と連携した毎月2回(日)の在宅当番医制に参加し、一次・二次救急医療、さらに高規格救急車の指示病院の指定を受け救急医療に積極的に取り組んでいます。新型コロナ感染症に対しても重点医療機関に指定され対応を行っています。

【施設概要】2023.7（データは2022年度実績）

1. 所在地 〒870-0263 大分県大分市横田二丁目11番45号
TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
2. 特徴 大分地域医療支援病院、大分県がん診療連携協力病院、災害派遣医療チーム大分 DMAT 指定病院、財団法人日本医療機能評価機構認定病院（Ver.6.0）、がん・肝診療・救急医療（救急告知病院）、地域医療・オープンシステム（開放型病院）、臨床研修指定病院
3. 診療科 17 診療科
【内科系】糖尿病代謝・内分泌内科、腎臓内科、膠原病内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、呼吸器内科
【外科系】外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、婦人科
【外科系・内科系以外】放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科
病床数 一般 300 床（急性期 255、包括ケア 30、休床 15）
4. 薬剤師数 （定数：11名） 薬剤部長 1名、副薬剤部長 1名、主任 4名（調剤主任 製剤主任 薬務主任 治験主任）、薬剤師 5名、助手 2名
5. 主な業務
(ア) 調剤 入院 41904 枚／年、外来 39124 枚／年(院外処方箋発行率 85.7%)
(イ) 注射 入院 49399 枚／年、外来 8193 枚／年
(ウ) 薬剤管理指導業務 983 件／年（81.9 件／月）
(エ) 無菌調製 I：1675 件／年（閉鎖式使用 0 件／年）、II：201 件／年
(オ) 外来化学療法加算 1137 件／年
(カ) 病棟薬剤業務実施加算件数 9441 件／年（6月より算定開始 944.1 件／月）

- (キ) チーム活動 ICT（感染対策防止加算）、AST、NST、緩和、DMAT
- (ク) 治験 3件／年
- (ケ) 持参薬識別 3652件／年（304件／月）
- 6. 特徴的な業務 外来患者指導（抗がん剤導入患者）
- 7. 令和4年度の取り組み 病棟薬剤業務実施加算再取得
- 8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	○

9. 病院目標・薬剤部目標

2023年度病院目標

- ・職員はみな共同体の一員。お互いに尊重して思いやること。
- ・プロ意識を高めて、感染防止などの医療技術を磨き実践すること。
- ・チーム医療の推進により業務を効率化し、逆紹介推進により外来診療をスリム化して、職員の働き方改革に対応すること。
- ・大分県東部地域の救急・入院診療の中核を担い、健全経営を目指すこと。

2023年度薬剤部目標

1. 薬剤師の専門性を活かしたチーム医療への参加
2. 医薬品の適正使用と薬物療法への貢献
3. 病院経営への貢献（適切な医薬品管理、薬剤関連加算への対応）
4. 病棟薬剤業務の推進
5. 疑義照会・プレアボイド・副作用報告の推進
6. 医療安全への積極的な関与
7. 薬剤師の専門性のための各種認定取得